

九州地区の7年12月住宅着工戸数

前年同月比1.7%減の6,072戸、長崎県は45.8%増

国土交通省がまとめた令和7年12月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比1.7%減の6,072戸で、床面積は同3.3%減となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が9.2%増、佐賀県が17.6%減、長崎県が45.8%増、熊本県が18%減、大分県が23.9%減、宮崎県が31.5%減、鹿児島県が4.6%減となっている。

新設住宅着工戸数(令和7年12月、令和6年12月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(㎡)		
	令和7年12月	令和6年12月	前年対比(%)	令和7年12月	令和6年12月	前年対比(%)
福岡	3,132	2,867	109.2	234,948	227,283	103.4
佐賀	308	374	82.4	28,590	29,012	98.5
長崎	541	371	145.8	41,843	32,367	129.3
熊本	800	976	82.0	67,070	77,812	86.2
大分	420	552	76.1	34,832	44,442	78.4
宮崎	296	432	68.5	26,850	35,740	75.1
鹿児島	575	603	95.4	47,274	51,170	92.4
九州地区計	6,072	6,175	98.3	481,407	497,826	96.7
沖縄	988	858	115.2	74,896	73,479	101.9
山口	615	969	63.5	46,522	81,192	57.3
全国計	62,118	62,957	98.7	4,880,080	4,893,080	99.7